

## 小学校区単位の地域づくりの状況報告について ～北御牧地区の地域づくりの取り組み②～

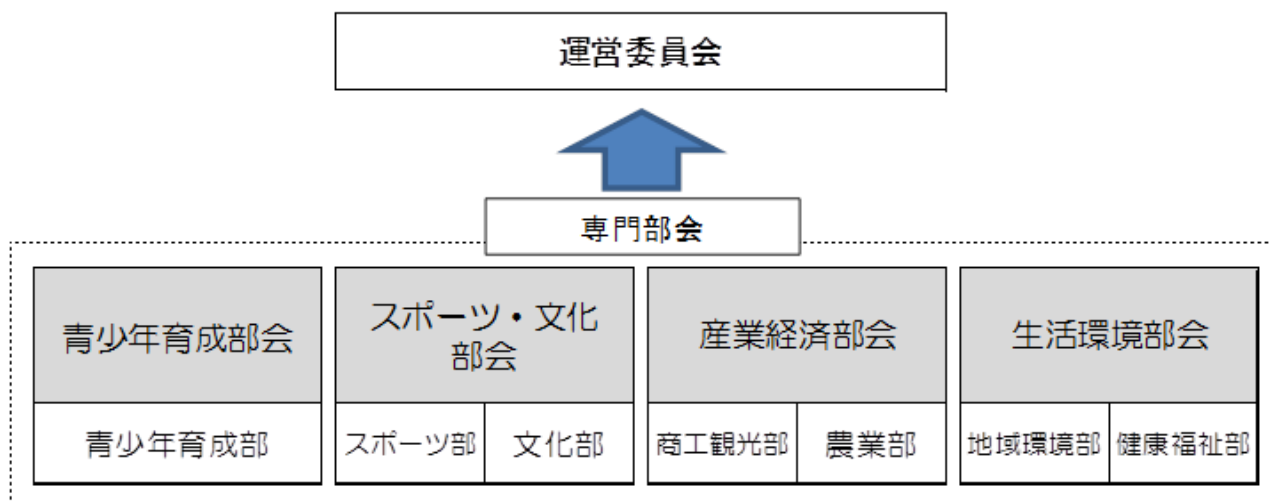
「北御牧地区の地域づくりの取り組み①」に続いて、取り組み状況を報告します。

### ■平成 25 年 8 月 21 日

第 6 回組織検討会議が行われ、新組織のイメージ案が協議されました。活動毎に「生涯学習、産業、生活環境、歴史文化」などの部会を設ける案や「住民の意見を吸い上げる仕組みをどうするか。」「企画委員会を設置すべきだ。」などの意見が出されましたが、継続協議となりました。

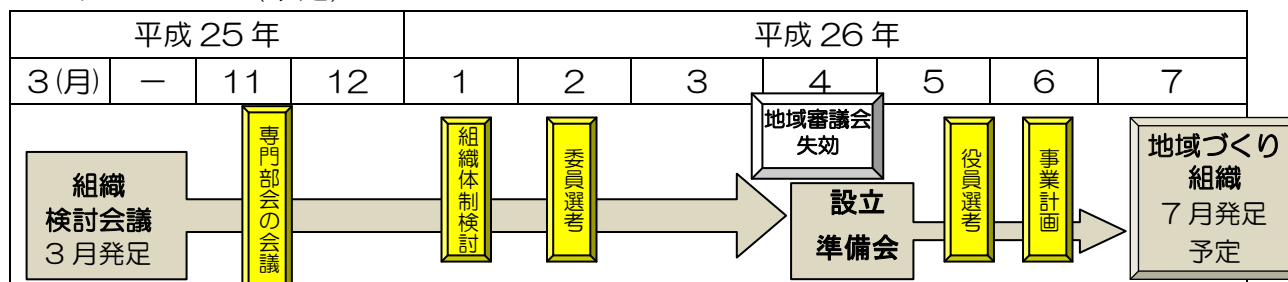
### ■平成 25 年 9 月 17 日

第 7 回組織検討会議が行われ、新組織の活動を先導する機関として専門部会を置く案がまとまりました。専門部会は「青少年育成部会、スポーツ・文化部会、産業経済部会、生活環境部会」の 4 部会とし、部会の中には、活動しやすくするための部を設けることになりました。また、運営委員会などの執行機関や住民が参画する仕組み等については、専門部会のメンバーとともに検討することで合意されました。



また、新組織である地域づくり組織の発足に向けての今後の進め方と予定について次のとおり整理されました。

～スケジュール（予定）～



## ※専門部会

- ① 専門部会は、地域づくり組織に参画する地域活動団体で構成されます。
- ② 各専門部会に参画していただく地域活動団体は、それぞれ同様の地域課題に対応した取り組みをしている団体で構成されていることから、活動をしていくうえで意見集約がしやすく、課題を共有できるメリットがあると考えています。
- ③ 具体的な活動は、各団体間で共有できた地域課題に対応する事業を行うとともに、既存事業に対しても互いに協力・連携できる体制を目指します。

## ※設立準備会

設立準備会は、組織検討会議で選考された地域づくり組織の委員により組織され、役員  
の選考、事業計画及び予算立案等の組織発足に向けた準備を進めます。

### ① 設置期間

平成 26 年 4 月を目途に設置。設置期間は、地域づくり組織発足までとします。

### ② 検討内容

ア 執行役員の選考、イ 事業計画・会計予算の立案、ウ 規約の作成等

## ■平成 25 年 10 月 8 日、11 月 19 日

第 8 回と第 9 回の組織検討会議が行われ、各部会に所属していただきたい各種団体を抽出し、部会毎に会合を開催することになりました。

## ■平成 25 年 11 月 22 日～28 日

「青少年育成部会、スポーツ・文化部会、産業経済部会、生活環境部会」の 4 つの部会  
毎の初会合がそれぞれ開催され、小学校区単位の地域づくり組織の必要性や組織検討会議  
のこれまでの取り組みの経緯と今後の予定、新組織の中の専門部会の位置付けなどが組織  
検討委員から説明されました。

### ①「青少年育成」部会での意見（組織検討会議委員の回答）

この組織に若い人が出てくるか心配。

若い人が出て来ないとしたら、若い人が望む将来とは何かを我々が考えなければなら  
ない。また、部会が目指すものが何かわからないとだれも出てこないと思う。

この活動に対するキャッチフレーズがあれば、目標が見えて良いのでは。

→（部会が目指すものやキャッチフレーズは、組織が出来てから、みんなで意見を出し合  
って決めるもの。まずは、継続的な話し合いの場を確保したい。）

団体に入っていない人の声を吸い上げることが大切。

### ②「スポーツ・文化」部会での意見（組織検討会議委員の回答）

部会の事務局はどうなるのか。

→（部会の事務局は考えていない。組織全体としての事務局を設ける。）

この会は、個々の団体の問題点を各自出してもらい、それをみんなで共有できれば  
良いと思っている。しかし、やることが大きく漠然としており、行政主導に慣れて  
いるため、すぐに何かをやるのは難しいと思う。みんなの意見を吸い上げ、地道な  
活動をしていくことが大切。

敬老会や火のアートフェスティバルをこの会で運営しようと言う趣旨か。

→（この会は、いろいろな人たちが集まって地域の課題や将来像などを話し合う場にしようというのが目的。その話し合いの結果、地域で必要であれば敬老会などの行事やイベント等をみんなでやると言う方向もある。）

□今、もらっている補助金はどうなるのか。

→（基本的には、現状維持。ただし、その団体が新組織に吸収されれば、補助金も新組織の会計に入り、そこから分配されることになると思う。）

### ③「産業経済」部会での意見（組織検討会議委員の回答）

□部会のイメージがわからない。

→（部会の活動がこう言うものだとし押し付けるものではない。参加者みんなで考えるもの。まずは、みんなで悩みを共有したらどうか。）

□あて職の団体が組織に参画した場合の任期は。

→（組織に参画してもらう人は、代表者でなくても良い。しかし、2年はやってもらいたい。）

### ④「生活環境」部会での意見（組織検討会議委員の回答）

□部員の任期は。

→（はっきりしていないが、2年でお願いしたい。）

□会のお金は区から出すのか。

→（区からの負担は今のところ考えていない。）

□大きな目標があれば、各部会の活動がわかりやすいと思う。

→（参加している人の全員の合意形成がないと目標はできない。地域住民が決めるもの。みんなで考えましょう。）

□この集まりで、決めようとしていることは、何か。今後、何をしたいのか。

→（今ここでどうこうするのではなく、話し合いの中で進めていくもの。地域をまとめるには、みなさんの力と考えが欲しい。4部会みんなが同じ目標を持つ取り組みをしたい。）

## ■平成 25 年 12 月 10 日

第 10 回組織検討会議が行われ、各部会の会合の総括や今後の予定について話し合われました。「まずは、単純な課題に何かひとつ取り組んでみたらどうか。」「動き出してみよう。」などの意見が出され、今後、地域づくりの講演会やイベントなど行うことが予定されました。